

若草中学校 自己評価書・学校関係者評価書（前期）

平成25年 9月24日
南アルプス市立若草中学校校長 早川 英樹
学校関係者評価委員会委員長 五味 俊弘

1 本年度の教育目標

- ① 学校教育目標 よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成
② 具体的目標 ○よく学び、工夫する生徒 (知育)
○心豊かで、助け合う生徒 (徳育)
○健康で、たくましい生徒 (体育)
○意欲を持ち、やりぬく生徒 (意欲)
③ 本年度の重点 ○新学習指導要領の完全実施及び教育課程の充実
○教科等の充実 ○道徳教育の充実 ○生徒指導の充実
○福祉教育・ボランティア活動の推進
○家庭や地域と連携した開かれた学校づくり
○部活動の活性化と学校教育への適切な位置付け

2 評価実施日

- ① 自己評価 評価実施日(平成 25年 7月 5日) 評価書作成日(平成25年 8月 1日)
② 学校関係者評価 評価実施日(平成 25年 9月20日) 評価書作成日(平成25年 9月24日)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

評価点：「思う…3点 やや思う…2点 あまり思わない…1点 思わない…0点」の平均点
評価：A…評価点2.4以上 B…評価点2以上2.4未満 C…評価点1.5以上2未満 D…評価点1.5未満

Table with 7 columns: 項目, 観点, 具体的な評価内容, 今年度評価点, 評価, 昨年度評価点, 自己評価(達成状況・改善策), 学校関係者評価(意見・支援). Rows are categorized by I (Education Goals), II (School Division), III (Learning Guidance), IV (Student Guidance), V (Special Activities).

○学校関係者評価者

五味俊弘(区長会長), 今福正信(カネフネ), 飯寄真由美(学校評議員), 佐藤友江(学校評議員), 斉藤 恵(PTA副会長), 早川英樹(学校長), 村松博己(教頭)

学校評価の目的は、学校教育の質的向上及び充実を図るため、常に学校の教育活動全体を見直し、前向きに改善を図っていくことである。本校では、教職員の自己評価と同時に生徒アンケート、保護者アンケートを実施している。生徒アンケートからは、多くの生徒が「学校に来ることを楽しい」と感じ、「学校の決まりを守って諸活動に意欲的に取り組んでいる姿、充実した学校生活を送っている様子」がうかがえる。しかし、授業に関する評価は教師の自己評価と差があるように思われる。特に、「自分には良いところがあると思う」が低い評価となっている。更なる授業改善に努め、基礎・基本の十分な定着を図っていくとともに、教師や友達から自分の良さを認められ、「自分は価値のある存在である」ことを実感できる場を全ての教育活動の中で設定していく必要がある。また、保護者アンケートでは、「お子さんにとって、学校は楽しいところだと思う」については、90%弱の方が肯定的にとらえていることは喜ばしいことである。一方で、「教師と生徒の対話」、「生徒を理解し、その子に合った生徒指導」、「保護者へのきめ細かな連絡」が低い評価となっている。教師の取り組みや努力が保護者に伝わっていないのが実践上の今後の課題である。また、自由記述の欄において多くの意見をいただいたが、それぞれについて校内で検討し、改善できることから2学期の取り組みに生かしていきたい。